

この度は、弘済会大阪支部の奨励金事業にご応募いただき、ありがとうございました。  
実施団体として、以下の6団体が選定されました。

### 2022年度「奨励金事業」実施団体

	申請団体・申請者	テーマ	選考結果
1	豊中市立第十七中学校 校長 麻植 昭夫	コロナ禍前に開催していた地域行事「であい・ふれあい・いもほりフェスタ」の再開に向け、生徒会執行部を中心に「いもほりフェスタ」のために荒れた校庭内の農地を整備し、いも栽培の準備をする。	10万円
2	関西学院 千里国際高等部 教諭 菊池 康貴	「千里国際×八尾市 空き家再生プロジェクト」 ーSDG sの観点から地域創生の可能性を探るー	10万円
3	大阪市立旭陽中学校 主務教諭 蔭山 友貴美	日本語指導。四技能を伸ばす日本語教材作成、研究。やさしい日本語での教科教材作成。進路取り組み、その他多文化スピーチ大会や母語教室等の母語伸長活動。	10万円
4	藤井寺市立 藤井寺西小学校 校長 多田 和彦	学校応援団「ふじのみ連絡会」の事業推進 学校を核として地域力の強化を図るために、保護者や地域住民が学校や子どもたちの教育活動に参画し、「よく学び、よく遊ぶ」子どもを支援するだけでなく、学校が地域コミュニティの中核となる協働体制の構築を図る。	15万円
5	富田林市立第二中学校 教諭 児島 和	障がいという枠を超えて「ポッチャ」を通してつながりを深める 「ポッチャ」という一つのスポーツを通して、生徒（障がいのある子ども）・本校卒業生（ポッチャ国際審判員）・地域（二中校区地域教育協議会）「二中校区すこやかネット」とのつながりをもとに、その子が中心となり、学年の子どもたちとの交流を深める取り組み。	14万円
6	地域農福連携 プロジェクト代表 大阪府立西浦支援学校 首席 小海 輝勝	ぶどうを中心とした農作業実習の充実と農福連携 ～知的障がいのある生徒が地域で輝くために～	10万円

選定された団体には、後日、弘済会大阪支部より日程調整等の連絡がありますので、よろしく願いいたします。